

平成30年度(2018年度)版

熊 本 県 税 務 統 計 書

熊 本 県 税 務 課



## は し が き

平成30年度の県税収入は、最終予算額を約2億3千万円上回る1,608億6千9百万円を確保することができました。

前年度決算額との比較では、県費負担教職員制度の見直しに伴い個人県民税所得割のうち2%相当分が、政令市に税源移譲されたこと等から、約85億1千万円(▲5%)の減となりました。

税目別では、家屋の着工件数及び大型物件の所有権移転の増加により不動産取得税は約10億円の増収、製造業等の企業収益の改善により法人事業税は約10億円の増収となりました。

一方、政令市への税源移譲により個人県民税は約88億円の減収、還付の増加により地方消費税は約25億円の減収となりました。

また、調定額に対する収入率は98.5%で、前年度を0.1ポイント下回り、滞納繰越額は引き続き個人県民税徴収向上対策などの取組みにより、前年度の21億2千万円から19億9千万円へ約1億3千万円減少し、初めて20億円を下回りました。

平成30年度も引き続き、熊本地震からの復旧・復興について、被災者の住まいの再建を県政の最重要課題と位置づけ、全力で取り組んでまいりました。

県税収入はこれらの取組みを支える貴重な自主財源の柱であり、今後とも公平・公正で納税者から信頼される税務行政を推進し、県税収入の確保に努めてまいります。

この熊本県税務統計書は、平成30年度における県税の賦課徴収実績を中心に編集したものであり、県税についての総合的な資料としてご活用いただければ幸いです。

令和2年(2020年)2月

熊本県総務部市町村・税務局税務課長

増 田 要 一